

近森オルソリハビリテーション病院 医療相談室

室長 川澤 あゆみ

○医療相談室体制について

2025 年は常勤ソーシャルワーカー（以下 SW）1 名＋非常勤 SW1 名の体制で業務を行った。

○業務について

医療相談室では例年同様に入院ケースを中心に業務を行った。

2025 年に当院へ入院してきた患者は 636 名（2024 年 651 名）、そのうち SW の介入が必要であった患者は 245 名・38.5%（2024 年 275 名・42.2%）であった。

2025 年の相談件数（延べ人数）は、入院患者関連 2598 件、外来患者関連・その他 348 件であった。相談対象は患者本人 1237 件、家族 720 件、関係機関 2262 件、その他 1 件、対応方法は面接 1557 件、電話 2314 件、訪問・その他 217 件であった。

SW が介入した 245 名の退院先は、自宅退院 192 名、施設入所 31 名（うち 7 名は介護老人保健施設へ入所）、医療機関への転院 22 名（うち 17 名は急性期病院へ転院）であった。また、245 名のうち要支援・要介護認定をもつ患者は 192 名、要介護認定申請中に退院した患者は 33 名、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等と連携して退院調整をおこなった患者は 168 名、サービス調整が必要であった患者は 163 名（2024 年 162 名）であった。

SW が介入したケース数は前年と比べ 1 割ほど減少したものの、サービス調整を要したケースは前年とほぼ同数であり、地域の関係機関と退院前カンファレンスを開催した件数・家屋調査件数はともに伸びている（図 1）。

2026 年も 2 名体制で在宅復帰を支援していくにあたり、ソーシャルワーク業務の絞り込みや他職種・地域との協働に注力し、必要なところへソーシャルワーク支援が届くよう取り組んでいきたい。

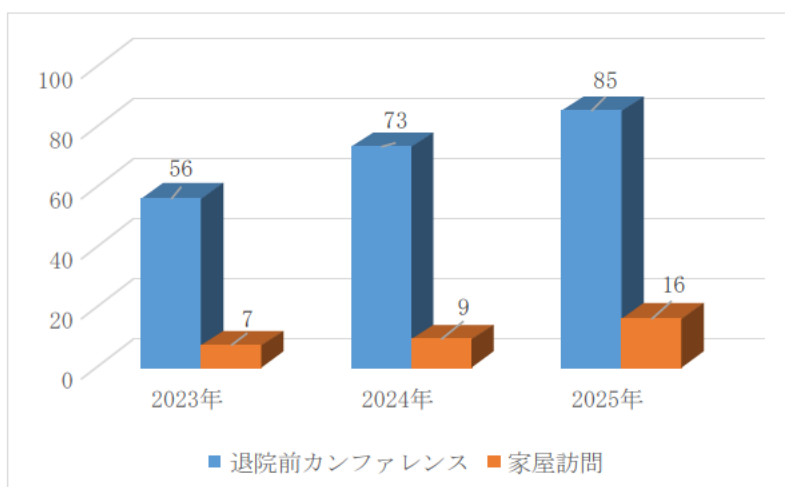


図 1.関係機関と連携した退院支援